科目名	専門演習Ⅰ　　Seminar Ⅰ						
科目担当者	本田 信雄　　HONDA Nobuo						
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	専門演習Ⅰでは、資料を配布して、主に企業財務に関する基礎的な内容について学び、その応用的なものについても取り扱っていく。その後、証券投資の基礎についても少し触れていく予定。また、これと並行して(卒業論文を念頭に置いて)レポートや論文の作成方法についても学んでいく。						
授業の到達目標	①企業財務の基礎と応用について学び、財務意思決定の重要性を理解する。また、証券投資の基礎についても学び理解する。 ②レポートや論文の作成方法についても理解し、実際に作成し提出する。						

授業計画・内容

1	ゼミについての説明①(年間予定・目標の説明)	16	後期ゼミ内容の確認(予定等)
2	ゼミについての説明②(前回の内容の確認、資料配布と説明)	17	企業財務基礎⑧(リスクとは)
3	企業財務基礎①(財務意思決定とは)	18	企業財務基礎⑨(リターンとリスクの計算)
4	企業財務基礎②(貨幣の時間価値)	19	企業財務応用編①(問題演習)
5	企業財務基礎③(将来価値と現在価値)	20	企業財務応用編②(問題演習)
6	企業財務基礎④(投資決定方法)	21	証券投資論基礎①(株式とは)
7	企業財務基礎⑤(回収期間法、正味現在価値法、内部利益率法)	22	証券投資論基礎②(株式市場)
8	企業財務基礎⑥(資本コスト)	23	証券投資論基礎③(取引方法)
9	企業財務基礎⑦(資本コストと加重平均資本コスト)	24	後期レポート作成指導①(説明と作成方法)
10	前期レポート作成指導①(説明と作成方法について)	25	後期レポート作成指導②(テーマ決定と作成)
11	前期レポート作成指導②(テーマ決定と作成)	26	後期レポート作成指導③(作成)
12	前期レポート作成指導③(途中経過確認)	27	後期レポート作成指導④(途中経過確認)
13	前期レポート作成指導④(作成)	28	後期レポート作成指導⑤(作成)
14	前期レポート作成指導⑤(提出)	29	後期レポート作成指導⑥(提出)
15	前期のまとめ、後期内容の説明等	30	来年度の予定等についての説明

授業外学修 (事前学修)	「配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく(毎週 2 時間)」 「レポート作成のための準備(毎週 1 時間)」
授業外学修 (事後学修)	レポート作成(前期 15 時間、後期 15 時間)

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
ゼミへの取り組み	70%	①②
前期および後期レポート	30%	②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	必要に応じて資料を配布する
参考文献	
その他	